

総合英語 (5) ①

間接疑問文

1 次の英文を訳しなさい。(Japan Times ①)

(1) "Everyone is watching how Tokyo is going to deal with the costs", said Suzuki, now director of the Japan Sports Law Association.

(2) The overall cost isn't presented at the bidding stage, which is why Tokyo estimated the 2020 Games at some ¥700 billion," he said.

(3) Suzuki also pointed out the lack of transparency for how the organizers estimated Tokyo's costs.

(4) "There was no information why the cost would exceed ¥3 trillion and why it could be slashed to less than ¥2 trillion," Suzuki said.

(5) Which parties will end up shouldering the financial burden is another major headache for the organizers.

2 次の文の下線部を英語にしましょう。

抗議とブーイングで変わる「採点」(1/2)

採点に疑問を覚えたら即刻抗議をする。体操界では、そんな姿を頻繁に見かけるようになった。

記憶に新しいところでは、2012年のロンドン五輪における男子体操団体もそうだった。エースの内村航平が最終種目のあん馬でミスをし、日本は4位に転落。ところが直後、日本チームが猛抗議し、ビデオ判定の末に主張が認められ2位に繰り上がった。

こうした姿勢は、04年のアテネ五輪のときに起きた一つの誤審事件が教訓になっている。大会6日目の8月18日、男子個人総合で、最終種目を残して首位に立っていた韓国のヤン・テヨンは、「金メダルだと思っていた」と振り返る。ところが、米国のポール・ハムは最後の鉄棒で、新月宙返りで着地を決めるなど完璧な演技を披露。9.837という高得点を挙げ、大逆転で優勝を飾った。対照的に、テヨンは鉄棒で失敗し、同僚のキム・

ダウンにも抜かれ、3位に沈んだ。テヨンは「鉄棒でミスをしたし、この結果は受け入れたい」と敗戦を素直に認めた。金メダルと銀メダルの差は、わずか0.012。これは五輪史上、最小の差でもあった。3位との差も、わずか0.049だった。

ところが試合の3日後、国際体操連盟（FIG）は、テヨンの平行棒の演技で採点ミスがあったと発表する。韓国側の抗議でビデオを見返すと、0.1点低くジャッジされていたことがわかったのだ。このぶんをテヨンの総合得点に加算すると、ハムを上回り、韓国史上初となる体操の金メダリストになっていたことになる。FIGはミスを犯した審判員3人に資格停止処分を科した。但し、「抗議は競技終了後、15分以内に書面をもって行う」という規定があるため、順位の入替えはしないとした。韓国側は、そのルールを知らなかったという。

こうした微差の採点ミスが生まれるのは、10点満点システムの弊害でもあった。1976年のモントリオール五輪で、14歳のナディア・コマネチが世界初となる10点満点を出してからは、10点満点が頻発することになる。技が高度化するにつれ過去の10点満点を超える演技も珍しくなくなったが、それでも10点以内で差をつけなければならず、上位者はわずかな得点差の間に集中するようになった。その細か過ぎる計算が、作業をより煩雑にさせてもいた。

アテネ五輪の体操における採点のごたごたは、これだけでは終わらなかった。8月23日の種目別決勝の鉄棒でのことだ。「セクシー・アレクセイ」と呼ばれ、絶大な人気を誇るロシアのアレクセイ・ネモフは、6つの離れ技を見せ観客を魅了した。しかし着地が乱れるなどミスも目立ち、得点は9.725どまり。この得点に対し、スタンドの観客は大ブーイングを浴びせる。テヨンの誤審騒動が影響していたことは明らかだった。しかも、あるうことか、ブーイングの最中にネモフの得点が9.762とわずかながらも上がった。観客のブーイングに得点が上下するなど前代未聞である。

相次ぐハプニングに韓国メディアは日増しにヒートアップ。米国と韓国の「誤審」を巡る因縁と言え、02年冬のソルトレークシティ五輪、男子ショートトラック競技での「オーノ事件」が思い出される。キム・ドンソンが優勝したと思いきや、進路妨害という微妙な判定で失格に。逆転でアポロ・アントン・オーノに金メダルが転がり込んだ。韓国は「第二のオーノ事件だ」と書き立てた。

1	抗議する		2	体操	
3	種目		4	主張	
5	教訓		6	総合得点	
7	書面		8	弊害	
9	魅了する		10	因縁	

3次の英文を読んで、理解したことを3点書きましょう。

WHO: Environmental Pollution Kills Millions of Children Every Year

(環境汚染と乳児・幼児の死亡率) (2/3)

Experts say air pollution is “the most dangerous killer.”

Of all the environmental pollutants, air pollution is the most dangerous. The WHO estimates that air pollution is responsible for about 6.5 million **premature**, or early, deaths every year. That number includes nearly 600,000 deaths of children under age five. Most of these deaths take place in developing countries. However, air pollution is a **leveler** between rich and poor because air pollution is everywhere. Everybody needs to breathe clean, fresh air.

One of the most important ways to reduce air pollution is to produce cleaner fuels for cooking and heating. According to WHO environment and health chief Maria Neira, almost half of the world population is using dirty fuels for cooking, heating, and lighting at home. This is especially affecting mothers who are staying at home cooking and children who are around mothers are exposed to air pollution as well. Early exposure to harmful pollutants can lead to increased risk of chronic respiratory disease, asthma, heart disease, stroke and cancer later in life.

- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____